

交通加害事故防止のための「運転チェックシート」を改訂しました！！ ～最近の交通加害事故の傾向から運転スタイルを見直そう～

【西部管内交通加害事故の状況】(平成29年4～10月)

原因	件数
前後方不注意	24件
左右不注意	14件
運転操作ミス	1件

発生場所	件数
交差点及び交差点付近	18件
駐車場	11件
直線道路	8件
カーブ	2件

4月から10月までの交通加害事故の発生件数は39件でした。これは、昨年度と同数で、減少傾向は見られません。

その原因の多くは、「前後方不注意」で、発生原因の約60%を占めています。また、発生場所では、「交差点」や「駐車場」が最も多く、全体の約74%を占めています。年齢別では、20代から30代前半、50代の事故が多く発生しており、曜日別では、金曜日が最も多く、本年度は、週休日に14件(約36%)もの事故が発生しています。

加害事故を防ぐためには、天候や道路の状況、自分の体調に応じた運転や運転計画が求められています。

最近の交通加害事故の傾向をふまえて改訂しました！

ポイント

運転チェックシートの改正点



前方不注意による追突事故を防止するために

③ 運転中に携帯電話を操作しないようにするために、カバンを後部座席に置くなどの工夫をしていますか。 [YES・NO]



交差点での事故防止のために

⑥ 進路変更時や右左折時には、必ず目視し、3秒前もしくは、30メートル手前で方向指示器による合図を出していますか。 [YES・NO]



駐車場での事故防止のために

⑧ バックする時には、バックミラーやバックモニターに頼らず、後方を目視してから車を動かしていますか。 [YES・NO]

⑩ 店舗から道路に出る時は、無理な割込みをせずに安全を十分に確認していますか。 [YES・NO]

改訂の内容について

前方不注意の事故が最も多く、全体の30%占めています。助手席に物を置かないなど、運転に集中できる環境を作るように工夫をしましょう。

方向指示器の遅れや目視による確認不足による事故が発生しています。

「3秒前・30メートル」「目視で確認」を徹底しましょう。

駐車場の事故は全体の30%です。安全確認は、必ず目視しましょう。また、店舗駐車場から出る時は、安全を十分に確認しましょう。

【交通加害事故防ぐ4つのポイント】

- ① 3秒間の車間距離 ② 3度の一時停止 ③ 制限速度の遵守 ④ 十分な駐車スペース

① 停止線で、確実に一時停止。 ② 少し出て、左右を確認するために一時停止。 ③ 周囲に発進の意思を伝えるために、少し出て一時停止。

スポーツで「人生」が変わる！ スポーツで「社会」を変える！ スポーツで「世界」とつながる！ スポーツで「未来」を創る！

平成29年3月、第2期「スポーツ基本計画」が策定されました。第2期は、平成29年度から平成33年度までの5年計画です。冒頭の言葉は、中長期的なスポーツ政策の基本方針として掲げられたものです。

基本方針を具現化するには
学校体育が重要！



この方針を具現化するとき、学校体育の重要性が打ち出されています。鈴木大地スポーツ庁長官の言葉にも「楽しい体育を！」「すべての子に運動の楽しさを。」「すべての子を運動好きに。」「社会的要請に応じた保健分野の学びを。」というものがあります。

さて、このような視点から体育科(小学校)、保健体育科(中学校)の授業実践を考えると、どのようなことを大切にしたらよいのでしょうか。その一端を運動領域/体育分野、保健領域/保健分野ごとに考えてみます。

【体育科運動領域(小学校)/保健体育科体育分野(中学校)】

- 運動の特性(一般的特性、子供から見た特性)を明らかにする。
- 運動の特性を明らかにしたうえで、適切な手立てを考える。
 - ・ 安全の確保
 - ・ 場の工夫
 - ・ ルールの工夫
 - ・ 用具の工夫
 - ・ 学習カードの工夫
 - ・ グループング 等
- 学習過程を工夫する。
「今持っている力で楽しむ」から「新しい力・工夫した力で楽しむ」
- 子供たちが、振り返りと次のめあてをつなげながら、主体的に学習できるように指導する。

子供は学習の
主人公です。



【体育科保健領域(小学校)/保健体育科保健分野(中学校)】

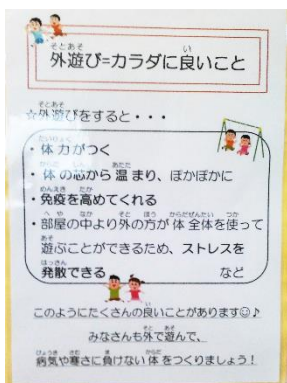
- 「科学的」という視点を大切にしながら指導する。
- 生活習慣病などの予防については、子供が実感しにくいことも考えられるため「不適切な生活行動を若い年代から続けることによって」という視点が大切になる。

授業実践にあたっては、資料が佐賀県教育委員会のホームページ(資料1)に掲載されていますので、参考にしてください。

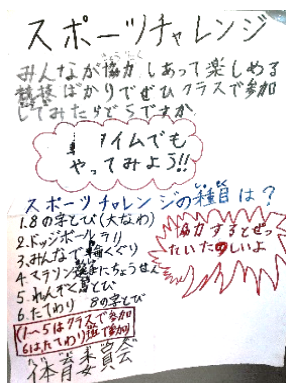


資料1 体育の授業実践が分かる佐賀県教育委員会ホームページ

県では小学生向けにスポーツチャレンジを行っています。参加校が年々増え、校内には外遊びを推奨する掲示物(資料2)と共に、スポーツチャレンジに関して、児童が作成した学級に参加を呼び掛ける掲示物(資料3)や種目と現在の記録を示した表(資料4)等をよく見かけるようになりました。委員会活動の呼び掛けで、学級の児童が主体的に取り組むようになれば、「運動が楽しい!運動が大好き!」と感じる児童が増えていくと思います。まだ、取り組んでいない学級、学校も、児童の運動に対する意欲の向上と運動に親しむ契機になりますので、スポーツチャレンジをご活用ください。なお、記録の提出は平成30年1月19日までです。



資料2 外遊びの奨励 (A小学校)



資料3 スポーツチャレンジの奨励 (B小学校体育委員会)

スポーツチャレンジ中間報告表

種目名	昨年記録と順位	現在の1位の学校の記録	現在のC小の記録と順位
けんす(輪くぐり)	私(位)	128秒	私(位)
マラソン(5分)	2分11秒(位)	2分11秒(位)	2分11秒(位)
ドッジボールラリー	110回(位)	110回	110回(位)
連続馬とび	405回(位)	405回	405回(位)

13日現在
またチャレンジして、記録を更新しましょう。

資料4 スポーツチャレンジ中間報告 (C小学校の体育委員会)

- ① 昨年のC小の記録と順位
- ② 現在の1位の学校の記録
- ③ 現在のC小の記録と順位

